



(一財)松本ものづくり産業支援センター

NEWS

第14号

令和7年8月発行



J R松本駅東面自由通路ギター展示

(7～8月はモーリス楽器製造株式会社)

「サザンガク」 5周年大感謝祭

(R7.4.1) 関連記事 14P



「先進企業視察『清水港& 三明機工』バス視察会」

(R6.12.3) 関連記事 8P



「テクニカルショウヨコハマ 2025」

(R7.2.5-7) 関連記事 12P

ものづくり産業支援のワンストップサービスを目指します

目次

1	アドバイザー・コーディネーターの紹介……………	3P
2	特集 DX・デジタル化の推進に向けた取り組み ～中堅企業も対応が求められる「2025年の崖」～ ……	4～7P
①	DX 推進と中小企業支援 (ものづくり支援担当：杉本 守アドバイザー)	
②	日穀製粉様 DX 推進活動伴走支援 (ICT支援担当：野尻 和彦コーディネーター、 宮島 正孝コーディネーター)	
③	生産性向上の切り札！動画分析によるムダ取り支援 DX ツール「Mobile-OTRS」 (ものづくり支援担当：相吉 一浩コーディネーター)	
3	活動トピックス……………	8～12P
	・ 先端企業視察「清水港&三明機工」バス視察会実施 (2024 年 12 月 3 日)	
	・ DX 推進「FUJITSU スマート工場オンライン見学会」開催 (2025 年 1 月 16 日)	
	・ 中小企業大学校サテライトゼミ「若手リーダー研修」開催 (2025 年 2 月 4～5 日)	
	・ 働き方改革①「業務切り出しワークショップ」開催 (2024 年 11 月 15 日)	
	・ 働き方改革②「シニア人材活躍セミナー」開催 (2024 年 2 月 27 日)	
	・ HACCP の考え方を取り入れた食品衛生管理セミナー開催 (2025 年 3 月 18 日)	
	・ 「テクニカルショウヨコハマ 2025」出展 (2025 年 2 月 5～7 日)	
	・ 令和 6 年度松本市製造業等支援事業 (ものづくり支援担当：豊口 稔コーディネーター)	
	・ 5 S 活動モデル企業視察会開催 (2024 年 11 月 14 日) (ものづくり支援担当：広橋 修コーディネーター)	
4	サザンガクからのお知らせ……………	14～15P
5	松本市からのお知らせ……………	16P
6	松本商工会議所からのお知らせ ……	17P
7	(公財)長野県産業振興機構松本センターからのお知らせ ……	18P

1 アドバイザー・コーディネーターの紹介

専門性の高い6名（ものづくり支援担当4名、ICT支援担当2名）のアドバイザー・コーディネーターを配置し、地域の中小製造業の皆様へのきめ細やかな支援を実施しておりますので、ご活用ください。

ものづくり支援担当



杉本 守 アドバイザー

松本市工業ビジョンの見直しを受け、ビジネスマッチングなど経営力向上に向けた経営支援全般や各種補助金申請支援だけでなく、生産性向上や人手不足対応を狙いとしたDX技術の推進を支援いたします。

- ① マッチング支援など経営力向上に関わる支援全般
- ② 新技術開発、新商品開発、新事業開発支援
- ③ 国、県、市の各種支援制度の申請支援
- ④ DX（IoTによるものづくり工程の見える化、工程改善～専用機～ロボット導入による自動化）に関する支援



豊口 稔 コーディネーター

松本市工業ビジョン中間見直しの5つの重点推進事項を念頭に、企業の皆様と課題を共有して、商品開発から販路拡大まで支援を行います。また、関係機関と連携して新たな課題（人材、DX、GX）に対応、見える化支援 などに取り組んで参ります。

- ① 企業間の強みを結び付け、新価値創造を支援
- ② 食料品産業、伝統的産業などの商品開発・販路開拓支援
- ③ 各種展示会出展支援、新規市場開拓支援



広橋 修 コーディネーター

松本市工業ビジョンが示す「松本市の特性を生かした新たな活力の創造により高い競争優位性を持った地域」を目指し、5つの推進事項を推進するため、最もベースとなる「人材」と「現場力」、「製品力」の強化に向けた支援を行います。

- ① 製造拠点の現場力強化（QCD+PSME）支援
- ② 製品力強化（新技術・新製品開発、ビジネスマッチング）支援
- ③ 次世代を担う、ものづくり人材の育成支援



相吉 一浩 コーディネーター

現在、多くの企業が業態を変革し、生き残る道を探さなければならない時代、自分自身も常に新たなことにチャレンジし、地域企業の皆様と、世の中になく製造現場を目指し、その先にはそれぞれの企業のお客さまの期待を超える、新しい価値創出の実現に向けて、支援してまいります。

- ① IE技術を活用し、製造力強化（工場／工程設計、自動化／合理化／省人化等）支援
- ② 次世代ものづくり人材の育成
- ③ 企業連携による、新たな価値創出に向けた支援

ICT支援担当



野尻 和彦 コーディネーター

DX・デジタル化の推進を実現するため企業内業務の課題を把握し、ICTをうまく活用することによる改善策を検討・検証し課題解決できるようご支援していきます。

ICT※に関連する新しい名称・キーワード・製品情報など日々のニュースなどでも毎日のように報道されています。リスクリングのテーマはもとより、企業活動に必要な技術や能力を高めていき、最終的には企業変革につなげていく分野になります。



宮島 正孝 コーディネーター

- ① DX活動に向けてデジタル化診断等を活用した現状把握と課題の整理
- ② アナログからデジタル化促進、デジタル化されたデータ分析・活用の支援
- ③ 経営者向け、一般社員向け、小中高生向けなど、対象別にセミナー、研修会等を開催
- ④ サザンガクにおける企業活動の活性化及び起業、創業、事業発現支援
- ⑤ ホームページ開設、ウェブショップ開設、OAソフト活用などICT関連支援
- ⑥ ウェブやメールによる各種施策、研修会情報等の情報発信・情報提供など

※ DX(Digital Transformation) デジタル化により社会や生活の形・スタイルが変わること

※ GX(Green Transformation) 温室効果ガスを発生させる化石燃料から太陽光発電などのクリーンエネルギー中心へと転換し、経済社会システム全体を変革しようとする取り組み

※ ICT（情報通信技術）：Information and Communication Technology

2 特集 DX・デジタル化の推進に向けた取り組み

平成 30 年（2018 年）に経済産業省商務情報政策局 情報技術利用促進課発表の『DX レポート』で提示されたキーワードが「2025 年の崖」で、DX・デジタル化の課題を克服できない場合、2025 年以降、最大 12 兆円／年の経済損失が生じる可能性が示唆されました。

昨年 12 月、独立行政法人 中小企業基盤整備機構が発表した全国の中小企業経営者、経営幹部 1,000 社を対象とした「中小企業の DX に関する調査（2024 年）」のアンケート調査報告書 ※によれば、73.2% の企業は DX を必要とすると回答しているが、実際に DX に取組済み、あるいは DX を検討していると回答した企業は 42.0% であり半数以上の中堅企業が未対応の状況にあります。DX に取組むに当たっての課題上位には「IT に関わる人材が足りない」が 25.4%、「DX 推進に関わる人材が足りない」が 24.8%、「予算の確保が難しい」24.5%と続いています。

松本ものづくり支援センター NEWS では本号と次号の 2 回に渡り、松本市工業ビジョンに掲げられた 5 つの重点推進事項の 1 つである「DX・デジタル化の推進」に関する、松本ものづくり産業支援センターの取り組みを紹介します。

※「中小企業の DX に関する調査（2024 年）」アンケート調査報告書（参考）

https://www.smrj.go.jp/research_case/questionnaire/fbrion0000002pjw-att/202412_DX_report.pdf

① DX 推進と中小企業支援

1. DX とは？－概念の明確化、3 つの段階があります

- ・ Digitization (デジタル化): アナログ情報をデジタル形式に変換すること。
- ・ Digitalization (デジタル活用): デジタル技術を活用して業務プロセスを効率化すること。
- ・ Digital Transformation (DX): 企業文化やビジネスモデルを抜本的に変革し、競争優位性を確立すること。

2. グローバルロボット市場の現状と日本の強みについて

- ・ 欧州企業事例: AI を含む全機能を有し、ティーチレス（教示レス）を提供。価格は日本製ロボットの約 2 倍。
- ・ 中国製造国家戦略: 世界のロボット設置台数の半数を占め、コアコンポーネントの国産化を推進。低価格（日本製ロボットの約半額）で、現在は限定的な輸出意欲に留まるが、将来的にグローバル輸出戦略へ転換する可能性が高い。
- ・ 日本ロボット企業: 品質とアフターサービスに強みがあり、日本の ROBOT Sler の信頼度が高い。アプリケーション開発力が今後の鍵となると考えています。

3. 自動化工程候補と支援事例

- ・ 自動化工程の特定: 「困っている」「人が多く必要」「30 分に 1 回のチェックが必要」などが自動化すべき工程の候補となる。（(株) カトウ）
- ・ 松本企業自動化支援「地ならし」: セルラインの自動化課題から支援をスタートし、企業自ら連合作業分析によるムダの排除や組立作業手順改善によって生産性が 10% 以上向上できました。

4. 経営支援の拡充を図ります

- ・ 生成 AI 活用支援: Gemini/Google, ChatGPT/OpenAI, Copilot/Microsoft の生成 AI を活用し、事業承継経営支援やパンフレット作成等をサポートしました。
- ・ 補助金活用支援: 松本市製造業等活性化支援事業補助金（スマート農業用ロボット等）の活用を支援。
- ・ バーチャル空間による企業紹介 「ばーちゃるまつもと 松本ものづくり巡り」プロジェクトへ

の参画を促すマッチング支援を行いました。

5. ネットワークと講演会について

- ・ロボット導入地域連携ネットワーク：経済産業省が進めるネットワークへの加入を検討中。
- ・中信地域自動化推進ネットワーク：計 18 社（導入部会 8 社、自律化部会 1 社、Sler 部会 9 社）が参加しています。
- ・今年度の講演会：高丸工業（7/24 開催予定）：遠隔 PC 操作によるサイバーフィジカル技術。中小企業にとって重要なロボットだから提供できる「品質」や女子高生でも扱える「簡単な操作性」について講演予定です。
- ・視察候補（今年度秋頃検討中）：北陸地域（ロボットメーカー、Sler、ユーザー）への視察を検討中。

ものづくり支援担当：杉本 守 アドバイザー

②日穀製粉様 DX 推進活動伴走支援

'22 年から現在までの日穀製粉様 DX 推進活動伴走支援について

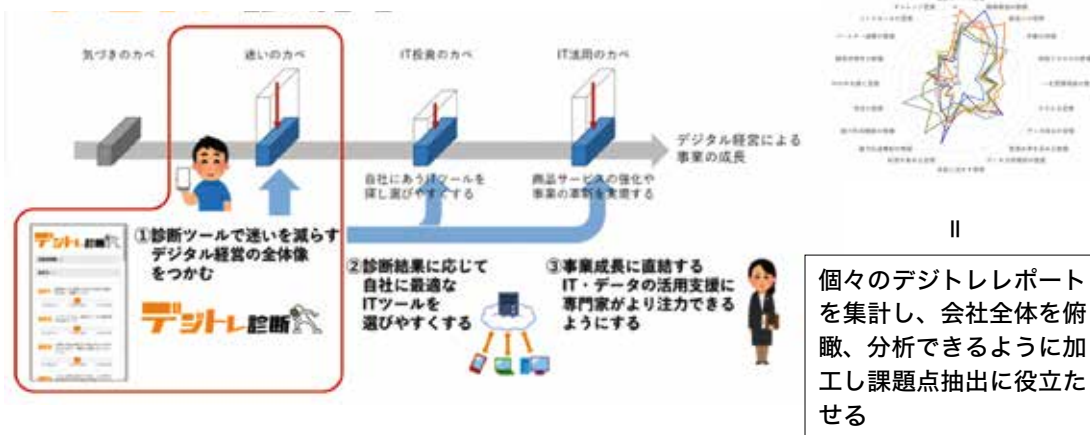
企業側・支援センターの活動内容、概要と、その活動での成果を以下の表に示します。

	'22 年 データ活用ブートキャンプ参加(7か月)	'23 年 継続：製造現場 で実績作り	'24 年 DX 推進部発足	'25 年 松本工場 全体活動
企業	デジタル化・可視化を進め、製造データの取得から分析までの一連の流れを検証しました。支援コンサルタントの提案等により、課題抽出、改善の手順、中長期的な計画策定までの手法を習得しました。現場を中心に DX 推進活動を行って、実績を積み上げて次のステップへ進むことができました。		DX 推進と人材育成・IT リテラシー向上の為、推進の専任部隊と DX 委員会を立ち上げ、会社全体での活動が開始されました。LARK、Schoo、JUST.DB などを活用し現場ニーズに応じた業務改革が進行中です。計測機器をデジタル化する、等現状把握のスピードアップを図っています。	
支援 C	ICT 支援担当 CD による「ICT 及び DX に関する支援」と、ものづくり支援担当 CD による「製造業の業務改善」双方の支援を取り入れた伴走支援を実施しました。ブートキャンプのフォローアップも継続的に行いました。		デジトレ診断を使った DX 推進の状態を見える化し、現状把握や課題分析を行い企業にフィードバックし活動を支援しています。外部支援企業をも巻き込んで、課題解決のための提案を継続しています。	
成果	PowerBI を使った原材料投入と作業工数を可視化し、課題特定・改善検証を完了できました。Kintone の有効性も確認し、ペーパーレス化の本格導入への道筋の確立することができました。		小さな成功体験で効果を現場が実感し、全体として活動につながり業務改革が確実に進んでいます。 '24 年デジタルシティ松本推進企業認定の最優秀企業にも選定され評価を得ました。	

■ブートキャンプ活動：可視化 / 分析系の詳細（課題への解決策全体像）を示します。



■デジトレ診断の位置づけと支援の流れを示します。



地域中小企業の支援の一環として「IT 出前講座」を実施しています。

出前講座とは、講師が出向いて実施する IT セミナーです。企業様と打ち合わせの上で実施しますので、ご希望の内容、日時でセミナーを開催・受講することが出来ます。基本的に無料ですが、松本市内の中小企業様が対象となります。PC やセミナー用の機材をご用意できない場合には、松本ものづくり産業支援センターから持ち込みます。



【テーマ例】

- ・ 各種オフィスソフト操作 ・ ホームページ作成 ・ ネット検索・Eメール活用
- ・ スマホ・タブレット活用 ・ ネットワーク構築 ・ プログラミング など

まずはご相談ください。【お問い合わせ】松本ものづくり産業支援センター（ICT 担当：野尻、宮島 info@m-isc.jp）

TEL:0263-40-1000 FAX:0263-40-1001 URL: <https://www.m-isc.jp/it> 出前講座 /

ICT 支援担当：野尻 和彦 コーディネーター

宮島 正孝 コーディネーター

③生産性向上の切り札！動画分析によるムダ取り支援 DX ツール「Mobile-OTRS」



■「Mobile-OTRS」とは？

ブロードリーフ社が開発した、タブレットやスマートフォンで撮影した現場動画を使って、作業のムダが見える化し、改善につなげるソフトウェアです。

従来のOTRS（作業分析ソフト）の機能をモバイルで手軽に活用できる点が特長で、以下のような悩みを解決するツールです。

- ・現場でムダはあると分かっているけど、どこから手を付ければいいのか分からない
- ・作業改善をやっても、「どれだけ良くなったか」が説明できない
- ・人手不足の中で、今の人員でどれだけ効率化できるか見極めたい

今年度、松本ものづくり産業支援センターにて、ついに導入しました！

私たちは、これを単なるツールとしてではなく「現場の生産性を高める武器」として活用していきます。

お声掛け頂ければ、一緒に現場に入り、動画撮影～分析支援、改善活動までを一貫してサポートしていきます。

■ 活用事例の紹介

● 金属加工業 A 社

- ・導入前課題：作業者毎の動きにバラつきがあり、標準作業を作りたくても見える化できない
- ・改善結果：作業の統一化を実現、リードタイム 10% 短縮、教育時間 50% 短縮

● 電子部品組立 B 社

- ・導入前課題：新人の育成に時間がかかり、生産変動に対応しづらい
- ・改善結果：新人の立ち上がりスピードが劇的に改善！
戦力化までの期間を 30% 短縮

ものづくり支援担当：相吉 一浩 コーディネーター

3 活動トピックス

先端企業視察「清水港&三明機工」バス視察会 実施（2024年12月3日）

2021年8月29日に中部横断自動車道（双葉JCT - 新清水JCT間）が開通となり、松本市と静岡市が3時間以内で結ばれました。このことにより中信地区の物流状況も大きく変わりました。今回、静岡市産業振興課様の全面的なご協力により、国際物流だけでなく、国内遠隔地への物流拠点となる「清水港」、静岡市の製造基地のひとつである「清水工業団地」、そしてロボットシステムインテグレーターでグローバルに活躍の「三明機工株」様の見学会を実施した。企業参加 6社8名+1社2名 支援機関 8名 計19名

○清水港 新興津コンテナターミナル&新興津岸壁 説明および見学

- ・日本を支える重要物流拠点 コンテナ取扱量全国8位（513千TEU、1,583万TON） 名古屋港の約1/5の貿易額 輸出2.23兆円 輸入1.39兆円 鈴与株が運営
- ・国際航路 韓国・中国（12航路）、東南アジア（10航路）、北米、欧州
- ・国内航路 RORO船 大分（週3便） 苫小牧、釧路（週1便） はこ廻船（東廻り、西廻り 各週1回）
- ・新鋼津地区 推進15m 700m岸壁 カントリークレーン6基 ヤード面積28.7ha 14,000TEUコンテナ船が着岸可能
- ・完全予約方式の「清水港VAN」による迅速・効率化 ゲートin～out平均17分 混雑もなく、安定的かつスムーズに通過可能！ 松本から片道2時間26分（177km）+CY 17分=往復5時間9分（参考）名古屋6時間14分+CY 東京7時間29分 横浜8時間1分
＜CY=Container Yardの意味＞
- ・CNP（カーボンニュートラルポート）の取組み：次世代エネルギーの製造、貯蔵、供給拠点、RTG・フォークリフト電動化・FuelCell化、陸上電力供給設備の導入（太陽光）等でゼロエミッションを目指している。



○三明機工株式会社 日本ロボット工業会副会長でもある久保田社長より説明および見学

- 三明機工(株)様は、設立1978年 資本金1,000万円 従業員100名 年商25億円 FA & RobotTotalSystemIntegrator 企業。本社工場のほかに清地工場、SANMEI MECHANICAL (THAILAND) CO.,LTD. 蘇州賛明自動化科技有限公司の関連企業を持つグローバルカンパニー。事業内容は（4つのカテゴリー）アルミダイカストマシン自動化システム、LCD自動化生産システム、鑄造溶解自動化プラントシステム、各種専用自動化ロボットシステムで構成されている。
- ・バーチャルロボットソリューションセンターの紹介と200inch大型モニタによるFAシュミレータ、VRゴーグルによるデモ体験、ロボット実機展示場見学&工場見学を実施しました。



○清水工業団地 見学

新清水 IC に直結の工業団地。内陸の高台を造成、地盤も強いので地震発生時の揺れも比較的小さいといわれており、津波の心配もない。設立平成 5 年 7 月。機械金属業を中心に 19 社が入居。従業員は、静岡市や富士宮市、山梨県側から通勤。交通の利便性が良い。

※今回のバス視察会は、静岡県港湾局、清水港利用促進協会、静岡市商工部、同海洋文化都市推進部の全面的なご協力により実施することができた。関係各位に深く感謝いたします。

ものづくり支援担当：豊口 稔 コーディネーター

DX 推進 「FUJITSU スマート工場オンライン見学会」開催（2025年1月16日） ～ DX は中小企業の経営をどう変えるのか / 時代の変化で求められるDXの本質～

富士通アイ・ネットワークシステムズ株式会社（南アルプス市）は、ものづくりDX（デジタルカイゼン）により 40%の生産性向上を実現した。今回 FI-NET 工場とオンラインで繋ぎ、スマート化を進める上でのポイントや効果、生産革新の取組み等を学んだ。当工場では、ネットワーク機器等をセル生産方式で生産しており PLC ログデータ、チョコ停、受け入れ検査進捗、OTRS+Actlyzer を使った標準作業分析、MotionBoard による情報可視化など進めている。



本セミナーは FUJITSU Japan (株)の協力により、主催：松本商工会議所 DX 推進部 共催：松本ものづくり産業支援センターにて開催いたしました。

ものづくり支援担当：豊口 稔 コーディネーター

中小企業大学校サテライトゼミ「若手リーダー研修」開催(2025年2月4-5日)

本年度の中小企業大学校サテライトゼミは、8月の「脱炭素経営の進め方」に続く2回目の開催となります。

講師に本田 祐美 氏(コンサルタントネットワーク株式会社取締役副社長人材育成チーフプロデューサー・元RSK山陽放送アナウンサー)をお迎えし、松本市中央公民館(Mウイング)にて開催いたしました。



目的▶ 若手リーダーとして立ち位置を理解し、職場の中核的人材へ成長するための意識改革をする
▶ 後輩指導のポイント(コミュニケーション)や上司との連携(補佐)について学ぶ
▶ チームのまとめ役として周囲を巻き込みながら仕事を進める方法(チームワーク)について学ぶ

事例やワークショップを通じ、会社が期待するリーダーとしての役割や心構え、信頼を深めるコミュニケーション、リーダーシップとフォロワーシップ、自己改革の実践ポイントなどを学びました。

☆2日間に渡り、本田講師の豊かな表現力と思いやり、ユーモアたっぷりの話術により、参加者も活発に発言され、充実した楽しいセミナーが開催できました。なお、本セミナーは、主催:(独)中小企業基盤整備機構関東本部 共催:松本商工会議所、松本ものづくり産業支援センター 協力:松本市商工課となります。

※R7年度は「コミュニケーション」(8月)、「プロ営業」(3月)に関する講座を開始する予定です。奮ってのご参加をお願いいたします。

ものづくり支援担当:豊口 稔 コーディネーター

働き方改革①「業務切り出しワークショップ」開催(2024年11月15日)

日本商工会議所の調査によると、中小企業の約7割が人手不足と回答しています。2030年には540万人の労働供給不足(長野県7.5万人)。対して休眠人材は3,300万人(障がい者301万人、子育て102万人、シニア2,898万人)とされています。子育て中の女性、障がい者、シニア、副業希望者、テレワーク等といった人材の労働参加と県内企業の人材不足解消のため、短時間勤務「ショートタイムワーク」の求人をはじめとした多様な働き方を促進するための「業務の分析、切り出し」セミナー(主催:長野ダイバーシティワーク事務局)を開催しました。自社の業務内容を分析し、資格を有する業務と要さない業務に切り分け、

- ① 資格を有する専門職が行う業務と資格を要さず短時間から行える業務に再構成(切り出せる仕事をきめて、その仕事ができる人材を採用)
- ② 資格不要な短時間勤務表作成により新たな人材をマッチング。業務効率向上をはかることが可能。

※人手不足でお困りの事業者に対して、業務切り出しのお手伝いいたします。また、「サザンガク」では専門のテレワーカーによる業務代行を行っておりますので、お気軽にご相談ください。

ものづくり支援担当:豊口 稔 コーディネーター

働き方改革②「シニア人材活躍セミナー」開催 (2025年2月27日)

本セミナーは、主催：長野ダイバーシティワーク 共催：松本ものづくり産業支援センターにより開催いたしました。人的資本経営への意識が高まる中、企業は多彩な人材の活用を考えなくてはなりません。

▶ 人的「資源」と人的「資本」



▶ シニア人材活用の現状と傾向

65歳以上の人口構成比は、29.1%。中小企業の人手不足が叫ばれている現在、65歳以上の人材の採用を積極的にしている企業は2割程度。年齢だけを理由（既成概念）に不採用している企業は7割もある。シニア人材のキャリア（スキルや経験）を活かすのは今。

▶ シニア人材活用のポイント・メリット

ポイント ①健康面・体力面への配慮

②継続的なキャリアのための配慮

③企業と個人の合意ができる働き方の設計

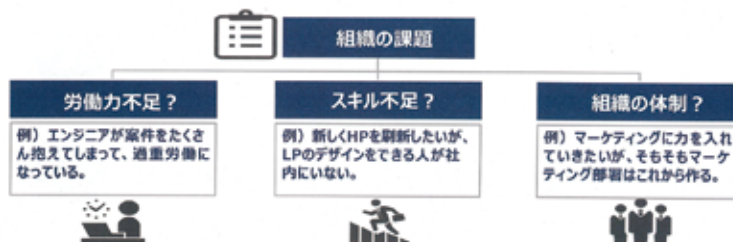
メリット ①豊富な経験やスキルを有効活用できる

②採用・育成コストを抑えて即戦力

③組織の活性化と事業継続性に繋がる

▶ 多様な人材を活用するための経営課題の明確化

人材を最適に活用するには、経営課題の明確化が必要となる。組織が直面しがちな「忙しい」「人が足りない」「できない」の背景にある本質的な課題について仮説を立てて検証することで、経営・事業推進のボトルネックが明確になり、必要な打ち手や人材像が定義しやすくなる。



ものづくり支援担当：豊口 稔 コーディネーター

HACCP の考え方を取り入れた食品衛生管理セミナー 開催 (2025年3月18日)

食品衛生法改正により、2021年6月1日以降 HACCP に沿った衛生管理が完全施行されました。このことより、原則全ての食品等事業者は HACCP に沿った衛生管理の実施が必要となっています。

今回、食品の特性に応じた衛生管理である「HACCP の考え方を取り入れた衛生管理（5S活動）」について改めて学び直す小規模事業者を対象としたセミナーを開催しました。



ものづくり支援担当：豊口 稔 コーディネーター

「テクニカルショウヨコハマ 2025」 出展報告(2025年2月5－7日)

令和6年度も「テクニカルショウヨコハマ」に出展を行いました。本事業は松本市需要開拓事業の一環で、(有)伊藤製作所様、シナノカメラ工業(株)様、(株)関一精機様、ニッキトライシステム(株)様にご出展いただきました。

参加企業様からは、会社をPRできる良い機会になった。新たな受注ができた。顧客と直接話ができた。新製品の提案ができ、新たな需要開拓の機会になった、などの感想をいただいています。



ものづくり支援担当：豊口 稔 コーディネーター

R6 年度松本市製造業等支援事業

松本市中小企業向け製造業等支援事業の令和6年度実績は以下のとおりです。

○松本市製造業等販路拡大支援事業 実績22件 (R5は20件)

主な展示会：2024 国際医用画像総合展、理想の住まいと建築フェア、モノづくりフェア 2024、SAMPE JAPAN 先端材料技術展 2024、第19回地方銀行フードセレクション、「食の魅力」発見商談会 2024、Wellness Tokyo 2024、SPORTEC2024 ヘルス&フィットネスジャパン、メディアケアフーズ展 2025、第59回スーパーマーケット・トレードショー 2025、FOODEX JAPAN 2025、FOOD TAIPEI 2024、ニューヨーク共同貿易レストランエキスポ、FHA 2024-HoReCa フード&ホテル・アジア など(このうち海外展示会は3件 (R5は6件))

○松本市製造業等人材育成支援事業 実績12件 (R5は10件)

主な研修会：営業計画策定講座、DX 人材育成講座、RPA のビジネス活用(入門編)、現場リーダー養成研修、若手リーダー研修、新入社員教育講座 など

※本年度も販路開拓や人材育成に積極的に支援いたします。お問い合わせをお待ちしております。

ものづくり支援担当：豊口 稔 コーディネーター

5S活動モデル企業視察会開催（2024年11月14日）

11月14日（木）に松本地域産学官連絡会および松本ものづくり産業支援センター主催の5S活動モデル企業視察会を開催しました。コロナの影響もあり6年ぶりの開催でした。

（株）荻窪金型製作所（池田町／精密プレス金型の設計・製作）で開催され、聴講者28名の参加でした。活発な質疑応答が行われ、盛況に終わりました。

本年度も7月に5S導入セミナー、11月に5S活動モデル企業視察会を開催予定です。



4 サザンガクからのお知らせ

サザンガクは、2019年11月にオープンした地域のICT支援拠点です。どなたでもご利用いただける自由なワークスペース「コワーキングスペース」、新規創業や地域進出の拠点となる「サテライトオフィス」、企業の人材不足と働き手をつなぐ場「テレワークオフィス」の3つの機能で、松本エリアのビジネス活性化をめざしています。

サテライトオフィス

デジタル技術分野をはじめとする創業や企業誘致の場として、全16区画をご用意しています。空き状況は、サザンガクまでお問い合わせください。

＜サテライトオフィス使用料 ※税・共益費込＞

- ・個人ブース：月額17,000円
- ・複数人区画：月額43,500円～（区画の規模により異なります）



テレワークオフィス

採用コスト、社員の流出、人手不足にお困りではありませんか？

事業者の皆さまのアウトソース先として、バックオフィス業務から、各社の固有業務まで幅広く対応いたします。

- ・登録ワーカー60名以上
- ・プライバシーマークを取得した万全のセキュリティ体制
- ・専任のディレクターが業務設計から構築・運用までのワンストップ提供
- ・課題やゴールに応じて、最適なBPO・アウトソーシングサービスをご提案



＜主な受注業務＞

- | | |
|----------------|---------------|
| ・バックオフィス業務 | ・校正 |
| ・Webサイト制作、更新作業 | ・資料作成 |
| ・広告、バナーデザイン | ・動画作成 |
| ・データ入力 | ・SNS運用 |
| ・データ加工 | ・ECサイト運用 |
| ・キャンペーン事務局 | ・CAD図面作成 etc. |

案件の大小、スポット・継続に関わらず様々な業務を請け負っております。
まずはお気軽にご相談ください。

コワーキングスペース

コワーキングスペースでは、落ち着いたワークスペースや集中ブース、ミニ会議室、壁面のホワイトボード、リラクスペースなど、様々な働き方をする方それぞれにピッタリな空間を提供いたします。

時間単位でのご利用も可能ですので、ぜひお気軽にご利用ください！

<コワーキング料金表（税込）>

ドロップイン	
2 時間	500 円／学生 250 円
1 日	1,000 円／学生 500 円
定期会員	
一か月	10,000 円（税込）

<コワーキング設備>

- ・Wi-Fi
- ・プリンター複合機（別料金）
- ・モニター貸出
- ・ホワイトボード
- ・シェアキッチン etc.



<サザンガクのセミナーにご参加ください！>

サザンガクでは、働く方のスキルアップ、業務効率化につながる様々なセミナー、ワークショップを開催しています。無料で受講いただけますので、ぜひお気軽にご参加ください。最新の開催予定は、サザンガクのホームページ、SNSをご参照ください。また、企業への出前講座もお引き受けしますので、ご希望の場合はご相談ください。

<過去の開催実績（抜粋）>

- ・AI・生成AIの現在地と未来
- ・採用にも役立つwebマーケティングセミナー
- ・データビジュアライゼーション講座
- ・3DCGトレーニングキャンプ
- ・SNS運用セミナー etc.



お問い合わせ

〒390-0874 松本市大手3丁目3番9号 サザンガク
電話：0263-33-0339 メール：info@33gaku.jp

5 松本市からのお知らせ

ものづくり事業者の皆さんへ様々な助成、補助制度を用意しています。詳細については、商工課工業振興担当までお気軽にお問い合わせください。

中小 地域中核

製造業等活性化支援事業助成金

大学等研究機関との共同研究や新分野への進出等企業の新たなチャレンジを支援します。



- ◇産学共同研究事業・新産業創出事業の場合
助成率 1/2 限度額 100 万円 1 事業 3 回まで
- ◇地域中核企業※が上記事業を行う場合
助成率 2/3 限度額 300 万円 1 事業 3 回まで

中小 地域中核

製造業等販路拡大支援事業補助金

展示会の出展や海外向け EC サイトの開設に際し、その費用の一部を補助します



- ◇国内向け
補助率 10/10 限度額 25 万円
- ◇海外向け
補助率 10/10 限度額 50 万円
地域中核企業※の場合は限度額 100 万円

中小

製造業等人材育成事業補助金

人材のスキルアップに係る研修費用の一部を補助します。



- 補助率 1/2 限度額 2.5 万円（人材 1 名につき）
1 事業者合計 10 万円まで

R6～
対象となる
研修を拡充！

地域中核

地域中核企業支援事業補助金

地域中核企業※が事務所・工場等々を新・増設する場合、その費用の一部を補助します。

- ◇施設等整備事業
補助率 1/10 限度額 500 万円
- ◇施設等設置事業
3 年間分の固定資産税相当額 限度額なし
（施設等整備事業を活用し取得したものに限り）

ヘルスケアサービス等実用化 検証事業助成金

ヘルスケアサービスに係る実用化検証を行う場合、その費用の一部を補助します。



- 助成率 3/4 限度額 100 万円 1 事業 3 回まで

中小

空き工場等活用事業補助金

市内の空き工場を活用し、製造や新製品開発等を行う場合、賃借料の一部を補助します。



- 補助率 1/2 限度額 96 万円（8 万円 / 月 × 12 か月）

※地域中核企業…地域未来牽引企業、県から地域経済牽引事業計画の承認を受けた企業等

中小

外部人材活用促進事業補助金

経営改革※¹のために外部人材※²の雇用等を行う場合その費用の一部を補助します。



- ※1 新製品・新技術の開発、新分野への進出、デジタル化・脱炭素化の推進等により、企業の成長促進を図ること
- ※2 市外に住所を有し、事業開始前に、補助を受ける事業者による雇用等が行われていない者

- ◇外部人材に係る給与等
補助率 1/2 限度額 90 万円（15 万円 / 月 × 6 か月）
- ◇外部人材に係る滞在費
補助率 1/2 限度額 10 万円
※合計 100 万円まで

「地域の人事部」
または、「信州100年企業
創出プログラム」への
参加が必要です！

脱炭素型大規模投資支援事業補助金

ゼロカーボン産業に取り組むために必要な建物の新設・増設・移設、償却資産の取得をするための大規模投資（3 億円以上）を行う場合、その費用の一部を補助します。



- 補助率 対象経費の 3% 限度額 3,000 万円

テレワークオフィス設置支援 事業補助金

松本市に新たに進出し、サテライトオフィスを設置する際、その費用の一部を補助します。



- ◇賃借料補助
①補助率 1/2 限度額 120 万円（10 万円 / 月 × 12 か月）
- ◇施設整備費補助
②改修費等 補助率 1/2 限度額 200 万円
③備品購入費 補助率 1/2 限度額 20 万円
※①～③合計 200 万円まで

企業事務所誘致事業補助金

上場企業等が市内に新たに事務所を設置する場合、その費用の一部を補助します。



- ◇取得の場合
3 年間分の固定資産税相当額 限度額 1,000 万円
（中心市街地の場合、5 年分 4 年目以降 600 万円）
- ◇賃貸の場合
補助率 賃借料の 1/2 限度額 800 万円 3 年間
（中心市街地の場合、5 年分 4 年目以降 400 万円）

お問い合わせ：

松本市役所商工課 工業振興担当 /
健康産業推進担当

TEL:34-3270 FAX:34-3008 /

TEL:34-3296 FAX:34-3297

〒390-8620 松本市丸の内 3-7

MAIL:shoukou@city.matsumoto.lg.jp /

kenkou-sangyou@city.matsumoto.lg.jp

6 松本商工会議所からのお知らせ

①国の補助金お知らせ

松本商工会議所では国等の補助金の申請に向けた支援を行っております。詳細については、中小企業振興部経営支援グループまでお問い合わせください。

小規模事業者向 小規模事業者持続化補助金



自社の経営を見直し、自らが持続的な経営に向けた経営計画を作成した上で行う販路開拓や生産性向上の取組を支援する制度で、広告宣伝、EC サイト構築、店舗改装、業務効率化のための設備導入などが補助対象となります。

◇一般型 補助率 2/3 限度額 50 万円
(賃上げ要件を満たす場合、150 万円上乗せ)
インボイス特例の要件を満たす場合、50 万円上乗せ

中小・小規模事業者向 ものづくり・商業・ サービス生産性向上促進補助金



働き方改革や賃上げ、インボイス導入等に対応するため、中小・小規模事業者等が取り組む革新的サービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善を行うための設備投資等を支援する制度です。

補助率：中小 1/2 小規模事業 2/3
限度額：製品・サービス高付加価値化枠 限度額 750万円～2,500万円
グローバル枠 限度額 3,000万円
(大幅に賃上げに取組む方、補助上限額を 100万円～1,000万円上乗せ)
(最低賃金の引き上げに取り組む方、補助率を 2/3 に引き上げます)

中小・小規模事業者向 中小企業省力化投資補助金



人手不足に悩む中小企業等が IoT やロボットなどの省力化設備を導入する際の費用を支援する制度です。

◇カタログ型 補助率 1/2 以下 限度額 200～1,000 万円
(賃上げ要件を満たす場合、限度額 300 万～1,500 万円)
※従業員数に応じて限度額が決まります
◇一般型 補助率 小規模 2/3 (補助額 1,500 万超部分 1/3)
中 小 1/2 (//)
(賃上げ要件を満たす場合、補助率 2/3
限度額 750 万～1 億円)
※従業員数に応じて限度額が決まります

中小・小規模事業者向 IT 導入補助金



労働生産性向上を目的とし、業務効率化や DX 推進のための IT ツール導入を支援する制度です。

◇通常枠
◇複数社連携 IT 導入枠
◇インボイス枠 (インボイス対応類型・電子取引類型)
◇セキュリティ対策推進枠
※詳細については IT 導入補助金ポータルサイトにてご覧いただくか、お問い合わせください

②2025 まつもと広域ものづくり産業フェア 開催のご案内



開催概要

日 時：2025 年 9 月 5 日(金)・6 日(土) 10:00～16:00

会 場：エア・ウォーターアリーナ松本 (松本市総合体育館 松本市美須々 5-1)

今年の「まつもと広域ものづくり産業フェア」は、例年以上に多くの皆様にご来場いただけるよう、エア・ウォーターアリーナ松本へ会場を移し、またプログラムを見直して開催いたします。企業の認知度向上・人材確保に向けた企業展示人材交流会、業界最前線の講演会・セミナー、こども向けものづくり体験教室に加え、地場産品 PR・販売の 4 つの事業を柱に開催いたします。世代を超えて様々な方が、楽しめる多彩なプログラムをご用意しております。ご家族・ご友人とお誘い合わせの上、ぜひご来場ください。地域の未来を支えるものづくりの力に触れる貴重な一日となるはずです。

詳細は、フェア公式ホームページをご覧ください。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

HP：<https://monodukuri.mcci.jp/>

お問い合わせ：松本商工会議所中小企業振興部 経営支援グループ／ものづくり・人材グループ
TEL：32-5350 FAX：32-1482 Mail：soudan@mcci.or.jp monodukuri@mcci.or.jp

7 (公財)長野県産業振興機構松本センター

1. 所在地

〒390-0852 長野県松本市島立1020 松本合同庁舎2F
TEL: 0263-40-1780 FAX: 0263-47-3380
Mail: nice-matsumoto@nice-o.or.jp
ホームページ: <https://www.nice-o.or.jp>



2. 組織

長野県産業振興機構は、2022年4月に長野県中小企業振興センターと長野県テクノ財団が合併し発足した、長野市の本部と県内5地域のセンターで活動する産業支援機関です。

松本センターは、松本市、安曇野市、塩尻市、大町市、北安曇郡、東筑摩郡および木曽郡の地域産業を支援・サポートしています。

3. メンバー構成 (2025.6月現在)

センター長、テクノコーディネーター、地域連携コーディネーター、受発注取引推進員、県産品コーディネーター、アシスタント

4. 設立目的

技術革新による地域産業の高度化と産業創出を促進するとともに県内企業の経営革新及び経営基盤の強化等を支援し県内産業の発展と地域経済の活性化に寄与します。

5. 業務内容

【相談支援事業】 企業が抱える経営上の課題や研究開発に係る技術的課題等について、相談支援を行います。

【産学官交流事業】 中信地域の地方自治体・商工団体・関連機関、県内大学・高専・公設試等が一堂に会するアルプス広域コーディネーター連携事業を運営し、また大学・高専・企業との産学官連携交流事業を実施します。

【新産業創出・経営革新支援事業】 新分野進出や新技術開発などの新たな展開を進める企業を支援する研究会事業を企画・運営するとともに、他機関と連携して新産業創出に資する事業に取り組みます。

【共同研究等推進事業】 提案公募型等研究開発プロジェクト導入支援や運営、フォローアップを行います。

【マーケティング支援事業】 専門の推進員等を配置し、受発注取引に関する相談、斡旋、各種商談会・展示会等への出展支援やマッチング等のサポートを行います。

【人材育成事業】 新技術・新製品の研究開発や実用化に資する技術人材の育成やものづくり現場に必要な最新技術の導入支援等により、地域産業の活性化と高度化を促進します。

6. これから開催するセミナー・講演会

8月 競争から共創へー社員の共感力と共創力がビジネスを変えるー「デザイン思考ワークショップ」

9月 不良未然防止と慢性不良解決の実践的「工程 FMEA 講座」

9月 NICE イノベーションセミナー「次世代バイオ燃料セミナー」

11月 「産学官連携交流会 in 松本 2025」

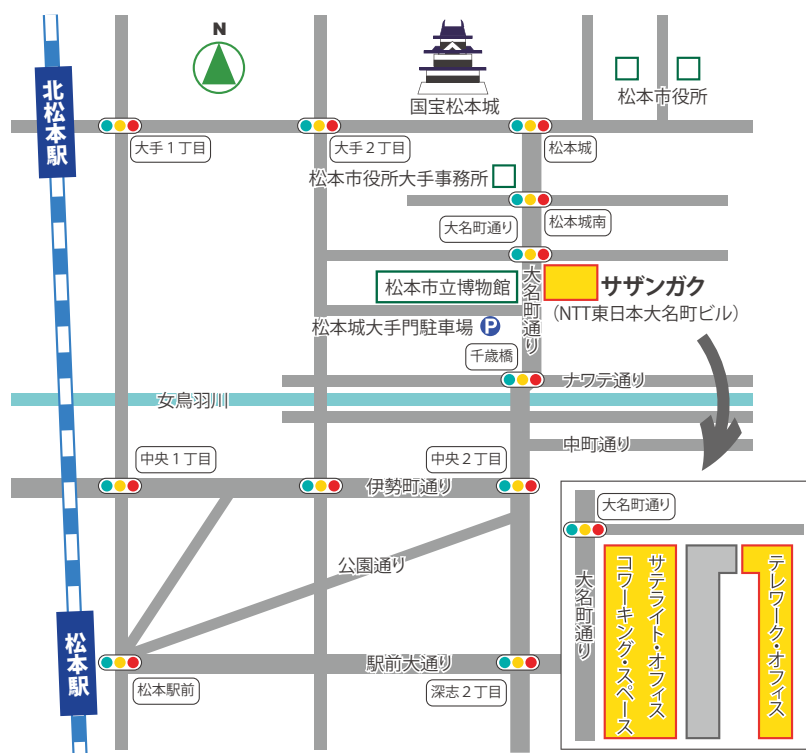
ホームページはこちらから





センターNEWSやメールマガジンの
お申し込みはこちらから

一般財団法人



コワーキングスペースのご利用案内

33GAKU
サザンガク
matsumoto collaboration space

関係機関（市外局番 0263）

松本市 産業振興部 商工課 工業振興担当／健康産業推進担当

TEL34-3270 FAX34-3008

TEL34-3296 FAX34-3297

松本市 産業振興部 農政課

TEL34-3221 FAX36-6217

松本商工会議所 中小企業振興部ものづくり支援グループ

TEL32-5350 FAX32-1482

信州大学 研究推進部 産学官地域連携課

TEL37-2087 FAX37-3049

（公財）長野県産業振興機構 松本センター

TEL40-1780 FAX47-3380（長野県松本合同庁舎内）
